

デジタル組織化 WG 報告

デジタル組織化 WG 主査: 飯島淳一

2004 年度理事会では、学会の諸活動の電子化を進めるべく、デジタル組織化 WG を設置し、学会誌・普及誌の電子化、学会 Web サイトの拡充、研究発表大会の電子化などを対象に、その可能性について検討してまいりました。その結果を、3 月 14 日(月)に開催された第 8 回理事会で報告いたしました。理事会において、下記の案について認めていただきましたので、ご報告いたします。

2005 年度 ML の整備とメルマガの発行、ならびに研究者マップの作成を検討

- ・ デジタル組織化により、会員サービスを充実させていくためのベースとして、学会から全会員向けに発信できる仕組みが必要不可欠です。現在、会員メーリングリストとして利用している jasmin-info は、会員 DB とリンクしていないため、すべての会員へリーチすることができず、また、すでに会員ではなくなった方へも配信されています。また、学会の財産ではないため、その運用には自ずと制約があります。
- ・ そこで、学会が管理する会員向けの配信システムとして、会員が自らオンラインで、アドレス変更などの自己管理ができる、会員情報管理システム(以下、MIMS と呼ぶ)を構築する必要があると考えます。
- ・ このような会員 DB とリンクしたシステムを用いて、産業界との連携を強化するための研究者マップの作成や、ニューズレターや普及誌のメルマガへの移行などを実現することができます。
- ・ さらに、MIMS に検索機能を付加することにより、会員名簿としても利用することができます。会員名簿は、従来 2 年ごとに 150 万円程度の経費をかけて発行しておりましたが、MIMS をベースにした電子的な会員名簿は、半ば恒久的に利用することができます。
- ・ MIMS の構築には、現在の名簿にもとづいてたたき台を作り、それを会員に修正していただくことがもっともよい手段であると考えます。

このロードマップにしたがい、今年度の予算で、デジタル組織化推進費として、約 260 万円 (MIMS 構築、会員 ML 整備、メルマガ発行システムを含む) を計上する予定です。MIMS 構築は、デジタル組織化による会員サービスの源になるものでありますので、その実現に向けて、会員の皆様のご理解をお願い申し上げます。

なお、この件についてのお問合せやご意見は、デジタル組織化担当飯島 (ijima@me.titech.ac.jp)までお願いいたします。